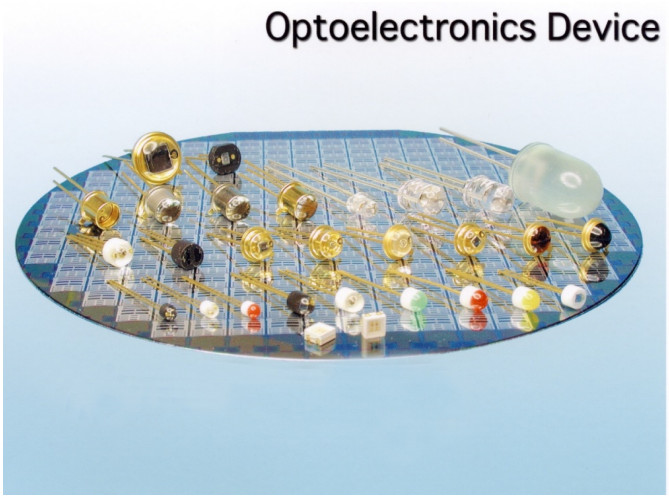
大倉電機株式会社

2025　年度　環境経営レポート

（対象期間：2025 年4月1日～　2026 年3月31日）



作成日：　2026年5月20日

目　　次

項　　目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6-8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

＜環境経営理念＞

大倉電機株式会社は、光半導体の製造・販売に係わる全ての活動、光半導体の製造および販売に対する環境影響を低減するために、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
　安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．PTRT物資の使用量を管理し化学物質の適正管理に努めます。

６．RoHS2適合した部材を使用し、安心で安全な商品を効率よくお客様にお届けします。

７．グリーン購入に努めます。

８．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2026年4月1日

代表取締役社長　大倉都和

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
大倉電機株式会社
代表取締役社長 大倉 都和

（2）所在地
本　　社　　京都府京田辺市大住姫垣内４－１

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　鈴木康之　　TEL：0774-63-5866

（4）事業内容
光半導体の製造及び販売

（5）事業の規模
売上高　　2620 万円

	本　社	0	0	0	合計
従業員　名	14 名	名	名	名	14名
延べ床面積　㎡	860 ㎡	㎡	㎡	㎡	860㎡

（6）事業年度　　4 月 1 日 ～ 3 月 3 1 日

□認証・登録の対象組織・活動

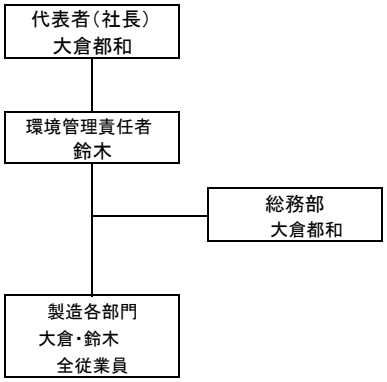
登録組織名：　　大倉電機株式会社
対象事業所：　　本　　社

活動：　　光半導体の製造及び販売

□事業や製品（商品）の紹介

●可視光発光ダイオード
●赤外光発光ダイオード
●フォト・ダイオード
●フォト・トランジスタ
●スイッチングダイオード・チップ

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
環境管理責任者 総務部	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
総務部	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
製造各部門	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	40,245	33,339	33,692
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	115	86	78
産業廃棄物排出量	Kg	97	183	295
水道水の使用量	㎥	112	82	86

※二酸化炭素排出係数　0.36　kg-CO2/kWh　2023年度電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

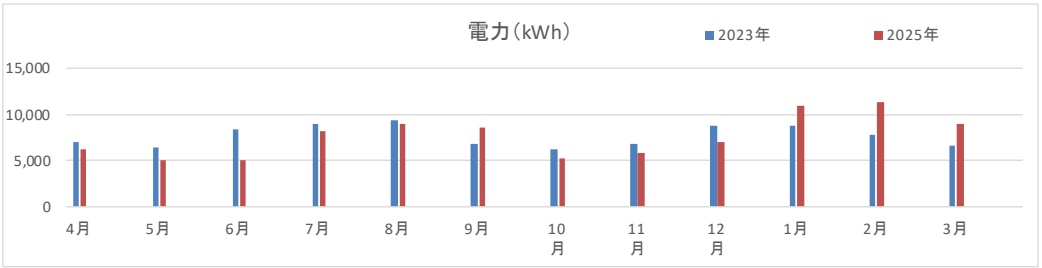
項目＼年度		基準値	2025年 通期		評価	2026年	2027年
		(2023年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	32,532	31,881	32,884	×	31,556	31,556
	基準年度比	2023年	98%	101%		97%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	29,813	31,881	32,884		31,556	31,556
一般廃棄物の削減	kg	86	86	78	○	86	86
	基準年度比	2023年	100%	91%		100%	100%
産業廃棄物の削減	kg	182	182	295	×	410	410
	基準年度比	2023年	100%	162%		225%	225%
水道水の削減	㎥	112	112	86	○	112	112
	基準年度比	2023年	100%	77%		100%	100%
グリーン購入の推進（オフィス用品G購入率）	行動目標（次項による）：評価「○」						
環境に配慮した生産活動	行動目標（次項による）：評価「○」						
化学物質の適正管理	行動目標（次項による）：評価「○」						
地域への環境活動	行動目標（次項による）：評価「○」						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成　×未達成

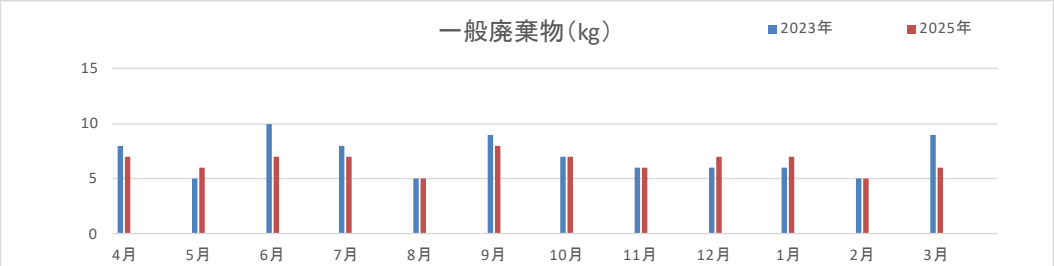
活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	2025年度より基準年を2023年度に変更。
・空調温度の適正化	○	暖房は灯油使用より電力使用を主としたのと作業場を増やしたため、電力の使用量が増えた。
・不要照明の消灯	○	
・効率のよい生産計画を立てる	○	その為、来年度の目標を変更する必要がある。
・圧縮空気を使う機器に開閉弁を付ける	○	
・不要な機器のブレーカー遮断	○	



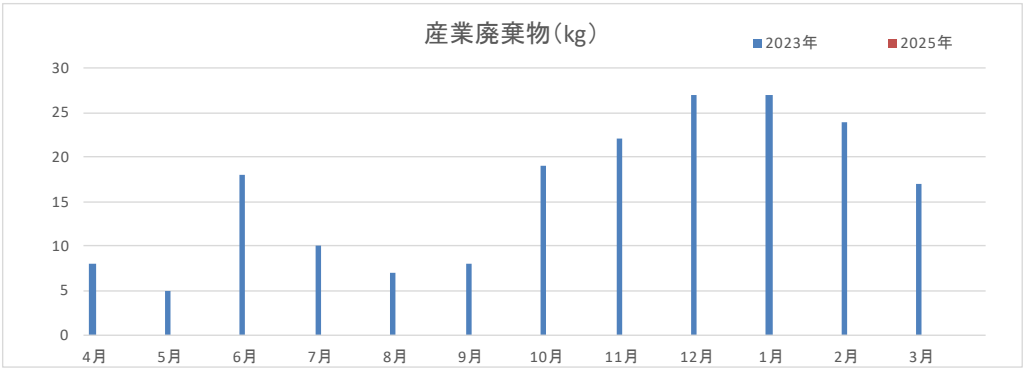
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	6,937	6,357	8,303	8,979	9,438	6,716	6,237	6,886	8,725	8,725	7,721	6,530
2025年	6,193	4,976	5,124	8,138	8,955	8,668	5,274	5,734	7,072	10,977	11,281	8,953

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	削減量に若干の変動はあるが、引き続き個人で発生させた昼食時のゴミ等は持ち帰っているのとペーパーレス化の効果は持続できていると思われる。 次年度も先手段を継続する。
・分別の徹底	○	
・シュレッダーの廃止	○	
・印刷物の削減（両面使用、ペーパーレス化）	○	
・可能に限り梱包材の再利用	○	



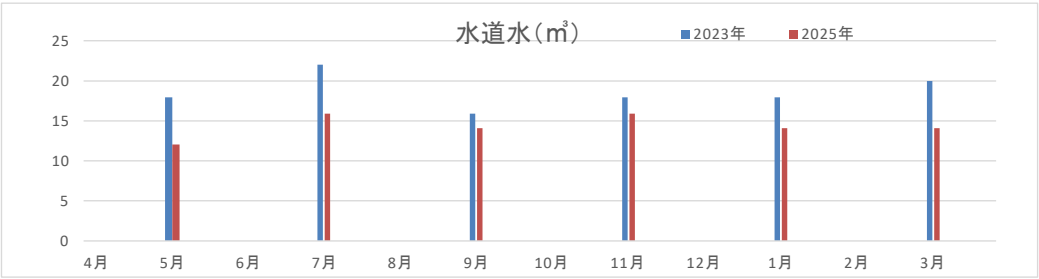
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	8	5	10	8	5	9	7	6	6	6	5	9
2025年	7	6	7	7	5	8	7	6	7	7	5	6

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	金属くずの大半はリードフーム製品の金属切断くずで部品の構造上、生産が増えると金属くずも増える事になるので大きな削減は困難な状態となっている。 その様に事もあるので製造に関する作業ミスを減らし産業廃棄物削減を引き続き取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・有価廃金属の分別保管	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	8	5	18	10	7	8	19	22	27	27	24	17
2025年	21	12	31	16	34	54	23	23	18	23	32	8

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	次年度も引き続き節水に取り組む。
・節水シールの貼り付け	○	
・節水	○	
・		
・		



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	0	18	0	22	0	16	0	18	0	18	0	20
2025年	0	12	0	16	0	14	0	16	0	14	0	14

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
		特に目標は立てていないが事務用品、衛生用品は省エネ、詰め替え対応の物を購入に心がける。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
・		

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	製造歩留まりも高く、市場クレームの発生もなかった。
・稼働率向上	○	使用する部材についてもROHS2品を使用している。
・ROHS2適合材の使用	○	
・		

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・SDS入手	○	適切に管理した。
・量の把握	○	リスクアセスメントを引き続き実施
・リスクアセスメント	○	
	○	

地域への環境活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・工場周辺の草取り・清掃	○	草取り・清掃を継続。工場前のバス通り近くまで清掃。
・コンプレッサーの騒音漏れ	○	次年度も、同じ手段を継続する。
	○	

課題を解決しチャンスを活かす	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	今年から新たに目標に設定した。本来事業計画にも上げていたが、EA21と連動させる。
・企業PRによる顧客開発	○	
・新製品・商品開発	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、金属くず）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
騒音規制法	空気圧縮機（3.7Kw）　（該当しない（自主規制））
振動規制法	空気圧縮機（3.7Kw）　（該当しない（自主規制））
PRTR法	液状エポキシ樹脂主剤　　1ton/年以下
消防法（危険物）	暖房用灯油（遵守）
フロン排出抑制法	業務用空調機（定期点検・記録を実施。異常が無いことを確認。）
顧客要求事項	品質管理
労働安全衛生法	SDS、リスクアセスメント、化学物質管理責任者の選任

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
尚、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からは環境上の苦情・要請等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:　　火災の発生	
■実施日：　2025年11月4日	■実施場所：　本社工場・乾燥器室
■参加者：　従業員全員（個々の個人名は個人情報保護の為、不記載とします）	
■実施内容：　☑通報訓練　☐消火訓練　☑避難訓練	
■評価： ・避難はスムーズに出来た。点呼も出来た。 ・出火想定場所への消化器移動も問題なく出来た。	手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし
■実施状況の様子 ・今後も避難通路に物を置かない。	

口代表者による全体の評価と見直し・指示

●環境方針
環境方針に付いては見直しの必要性はないため来年度もこの内容で行う。
エアコンの使用方法を変更したため電力使用量を削減できた。
●目標・活動計画
2025年度より基準年を2023年に変更。
●次年度の取り組み
引き続き前年度の改善取り組みを継続します。
●総括
環境活動を長年行ってきているため大幅な削減案は出尽くした感があるため、小さな削減を積み上げ更なる環境活動に努めます。
●産業廃棄物について
生前、前会長がまだ使用出来ると保存していた物が実際には使用できない物であった為、それらを処分するため2026年度、2027年度は産業廃棄物量が増えると思われます。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり